

市宇の棚田

市宇の棚田は「天空の棚田」と呼ばれています。これらの棚田は、標高 450 メートルから 700 メートルの、山の尾根が目の高さに見える場所にあります。棚田には 662 枚の水田があり、それぞれが平均 250 平方メートルの面積をもっています。絵のように美しい風景と、山を流れ落ちる心地よい水の音は、市宇に独特の雰囲気を与えています。

新鮮な湧き水

市宇の良質な湧水は飲用として安全で、また農業に利用されています。公共用に用意された水飲み場があります。

テンジョーノイズミ（天上の泉）

この水飲み場は市宇活動センターに面しています。水は溶け込んでいるミネラル分が低く、pH 値は中性です。景色を満喫しながらのどを潤すことができる最高のロケーションです。

テンクーノイズミ（天空の泉）

この水飲み場は町道 31 号線（市宇道）のすぐ脇にあります。冬には暖かく、夏には冷たい水を供給してくれます。

フルサトノイズミ（ふる里の泉）

この水飲み場は県道 16 号線沿いの市宇西バス停横にあります。水質は弱アルカリ性です。夏には立ち並ぶ木々が心地よい日陰を提供してくれます。

多目的な土地利用

日本では棚田というと通常米を連想しますが、市宇では農家の人々は、棚田に他の作物も栽培しています。水田は大量の水を必要とするため、一部の土地は畑地に変換されていきました。特に溪流の水が限られている市宇の下の方のエリアではそうです。水田は市宇の総土地面積の約 6%しか占めていません。果樹およびいりどり葉っぱビジネス用の植物がより大きな割合 – それぞれ 24%および 13%以上 – を占めています。ソバ（ソバ）も人気の作物で、花が咲く時期には段々畑が白い花壇の広がりになります。

伝統的な農村景観

この地域の風景は、壮大な山々の景色や、時の流れに取り残されたような伝統家屋の家並みがあって見事です。一軒の農家民宿がとりわけそういった景色で有名です。棚田からの上りのドライブでは、標識はなくとも素晴らしい見晴らしの高台が棚田の上の道端に沿ってたくさんあります。

体験型アクティビティ

市宇よろず会では、毎年恒例のイベントを開催しています。参加者は、五月には田植え、七月には阿波晩茶作り、九月には稲刈り、十二月にはモチつきなどの体験できます。